

ENJOY ROTARY!

# ロータリーを楽しもう!

1989-90年度国際ロータリーのテーマ

- 国際ロータリー会長 ヒュー M. アーチャー ● 第256地区ガバナー 吉野 一郎
- 会長 — 小林 英雄 ● 副会長 — 小林九満太 ● 幹事 — 五十嵐昭一
- SAA — 近藤 雄介、渡辺喜彦 ● 例会日 — 毎週水曜日 12:30~
- 例会場 — 三条市旭町2-5-10 三条信用金庫本店 TEL 34-3311
- 事務局 — 三条市旭町2-5-10 TEL 35-3477 田中久美子

(FAXも同番号 午後3時以後はFAXに切り替えます)

- クラブ会報委員 — 古沢 富雄、渋谷 正一、佐久間洋一、高橋 清見、小林 正義

---

出席会員数	会員 73名中 55名
先々週出席率	91.78% (前年同期 95.24%)
今日のお花	秋明菊
ヴィジター	三条南より 山崎 昇君、橋本和雄君、長谷川晴生君 三条北より 中條耕二君
先週のメイクアップ	9/18 三条南へ 古沢富雄君、佐藤信次郎君、加藤紋次郎君、五十嵐昭一君、松谷昊吉君、熊倉昌平君、齋藤弘文君、近藤雄介君 9/19 三条北へ 渡辺勝利君、石橋育於君、藤田紘一君 9/17 西部IGFへ 藤田説量君

### 会長挨拶 小林(英)会長

仕事と遊びの違いは何でしょうか。休日のひと時、観光地に家族そろってクルマで出かけ、一日いっぱいドライブして帰ってくるお父さんにとって運転は遊びです。しかしこの家族にたのまれて、代金をもらい引き受けた第三者のドライバーがいたとすれば、その人にとって運転は仕事となります。二人の違いは何でしょう。やった行動そのものについてはどこにも違いがありません。

やとわれ運転手とお父さんの違い、それは結局「自由」の違いでしょう。主体性の違いでしょう。お父さんは行動を勝手に決められますが、お金を貰って仕事をする側はそうはいきません。だから仕事につらさがあるとすれば、自分の自由が規制されているつらさがあるという事でしょう。これをアランは「支配しているかぎり」と「服従しているかぎり」と言っています。

仕事の中にどれほどの自由があるか、これによって仕事はおのずから遊びに近づき、面白くなるのでしょうか。

仕事の自由度は自分で気づくべきもの、自分で獲得すべきものと言われます。

ロータリーの仕事では、その行動に代金の支払いはありません。むしろ行動しながらお金も出します。だから本来楽しい筈のものです。ロータリーを本当に楽しくするためには、自分に主体性をもって、ロータリーに進んで参加することではないでしょうか。

#### 幹事報告 五十嵐(昭)幹事

・吉野ガバナー事務所より 国際ロータリー第510地区GSEチーム受入日程表

・イシイ出版より 第256地区地区幹事 石井省三著

「新改訂版ロータリー役員必携」のご案内 定価 1,800円

・例会変更のお知らせ

燕RC 9月21日(木) ガバナー公式訪問

9月28日(木) 夜の親睦例会

・9月23日(土) 巻認証状伝達式

AM11:00 市役所前にマイクロバスがでますのでご出席の方はよろしくお願ひ致します。

#### ニコニコボックス ¥15,000

小林(敬)君 来月10月に次男坊がお嫁さんをもらうことになりました。吾が家の初体験です。

藤田(紘)君 今日の卓話を藤田説量先生にお願ひ致しました。感謝を込めて!!

藤村君 本日は都合で早退します。BOXに協力。

岩井君 17、18日と安達太良(アダタラ)登山をしてきました。幸いにも好天に恵まれ、山頂よりの眺望を楽しんできました。

小林(英)君 藤田説量パストガバナーの卓話にご期待申し上げます。

#### 卓話 青少年問題について

藤田説量会員

ロータリーの青少年問題にふれますと委員会の名称が青少年活動から、青少年奉仕に変わった事は御存じの通りであります。先づ地域の青少年に対する環境を調べるとか、健康態で有るか、均衡のとれた教育がなされているのかどうか調査をするなど誠に結構なことが書かれて居ります。

私達が青少年に接しますことは、我々の次の世代を担う者達に、先輩達が考えていた事をいくらか受け継いでもらい度いと言う願ひがこめられていると思ひます。

然し乍ら今の世代の14~16歳の者達と、その年齢を過ぎ去った者とは大きな断層が有ります。

新潟西部IGFの青少年奉仕部会のサブリーダーである渡辺春吉さんが面白い資料を作ってくられたので少し読み上げてみたいと思ひます。

今の中・高校生気質と言う事で、新任の先生を迎える生徒の反応に付いては拍手の量で決定する。人気のある先生は拍手が多く、生徒に人気の悪い先生には拍手を少ししかしないと言う様な事です。

又、万引が多い、今迄の刑事関係もそうですが、万引は犯罪でないと言う意識で来て居りました。従って親達も万引は遊びで有って犯罪ではないと言う姿勢で子供達に接していたものですから、非常に万引が多くなったので、警察庁は、これを犯罪として取締まる様指令を出した時から、ピタリと半分以下に下がったと言う事です。

人の物を盗むという事は民主々義生活の中で、一番忌む可き事であり、民主々義生活の中であってはならない事であります。

暴力を振らない、物を盗まない、人の精神を圧迫しない。この三つが民主生活の基本だと思ひます。

その基本である、盗むと言う事を遊びと解釈して、親が生ぬるい対応をしている処に子供達の間違ひが起こって来た。万引ていどと思ひていることがだんだんエスカレートして来て万引で終わらなくなるという事がわかったからだと思ひます。警察が犯罪として、これを取締る様になってから非常に良くなった。これは取締だけの為の指令でなく、一つの方向を与える為の愛の「ムチ」であり、きちっとして物事を認識する姿勢を養う為の手段であると評価して居ります。

髪について、「朝シャン」は100%に近いし、朝シャンプーをして髪の乱れを気にして、1里半位は歩いて通うのが多いそうです。髪はあまり洗うと悪くなるそうですが、これを



徹底的にやっているそうです。

朝食はあまり食べない子が多く、食べるにしても親と一緒に食べたがらないで一人で食べる。つまり自分の世界を持ちたがる。学用品にしても遊び気分の品物が喜ばれる。

遊びにしても友達と交流を深めると言う様なものでなく、一人悦楽に耽けると言う姿勢が非常に多くなっている。

又、色々の事を全部親がやっている。たとえば忘れ物をしても親が届ける。自分で取りに行かない。途中で雨に降られるとタクシーで迎えに来るとか。又、何か過ちを起こしても素直に詫げる心を持たないので「すみません」が言えない。服装の乱れが見受けられる、等に付いては非行性の原因につながる、男女の相異点がなくなって来た。と渡辺さんの資料に出て居ります。

私は青少年問題で考える可き事は、三つ有ると申し上げて来ました。一つは現在の子供達は安定感に欠けている。それは3歳迄の成育時にきっちりと母親に抱かれて育て、安定感を養うことが、現在の共稼ぎの家庭ではそれを出来る人は希になって来た。3歳迄に安定感が充実して居れば一生その人の安定感はゆるぎなきものとして育てて行くと、ある学者は説いて居ります。

大きくなってトラブルに逢ってもこれを克服するだけの智慧と勇気にこの安定感から生まれるものであります。現在の子供の育て方の中に問題があるとすれば、これが一番の問題点であります。

非行問題に致しましても、子供の安定感の欠除から、心が不安定になり、色々の問題を引起こす原因になって居ります。3歳迄にしっかりと安定感を養う様な育児体勢に欠けていると言う事がいえると思います。

今一つは、3歳からその後、何を教えるかと言いますと、それは社会性であります。子供達が社会に出た時にきっちりと物事に対応し、応答出来る様に教え育てるのが親の責任であります。挨拶や感謝の言葉が言えない人、又、人との応対が出来ない人が非常に多いことです。これ等は学校で教えるものでなく、親が家庭で教える可きものであって、これを3歳～7歳位迄にきっちりと教えるのが家庭教育であります。

人間の生きざまと言うか、生き方と言いますか、それ等を教えるのが父親の務めであり、母親の務めであります。子供達の非行に走るのは家庭の中に原因が潜んでいることを我々は大いに認識を深めなければならない事を問われている訳であります。

京都の本山で経験した事ではありますが、ここでも挨拶の出来ない子が随分沢山居りました。そしてこれ等の親達も自分の子に丈、用を済ませて、他の人には何の挨拶もしないで帰るのを見ました。きっちりと挨拶の出来ない親達の子供が、挨拶の出来ない子として育っているなあーと、私は実感として受け止めて来ました。

私は、「小さい時からの教育、小さい時からのお互いの結び合いのあり方」と言うものが一番これからの青少年の問題に大切なものでなかろうかと考える者であります。

**ちょっと目を通して下さい!!**

No.11

クラブ会報委員会

**ロータリー財団の創設**

1917年(大正6年)のアトランタ国際大会で、時の会長アーチ・クランプ氏によって提唱されたのがR財団創設の糸口となりました。

1917年と言えば、まだR Iとはなっておらず「ロータリー・クラブ国際連合会」の時代で、今から72年前に当ります。

アーチ・クランプ会長の提案というのは「国際理解の推進、国際間の親善と平和を築いて行くために財団の設立を……」というものであります。

「ロータリークラブ国際連合会」がR I(国際ロータリー)に変わったのが、1922年、更にその6年後の1928年(61年前)に開かれたミネアポリス国際大会で、R財団の設立が決定したものであります。

財団基金は主として寄附金に仰いでいます。昨年6月末で寄附金総額は約4億ドルとなっております。(日本からの寄附額は8,500万ドル)

---

次 週 例 会    9月27日    早朝例会    本成寺

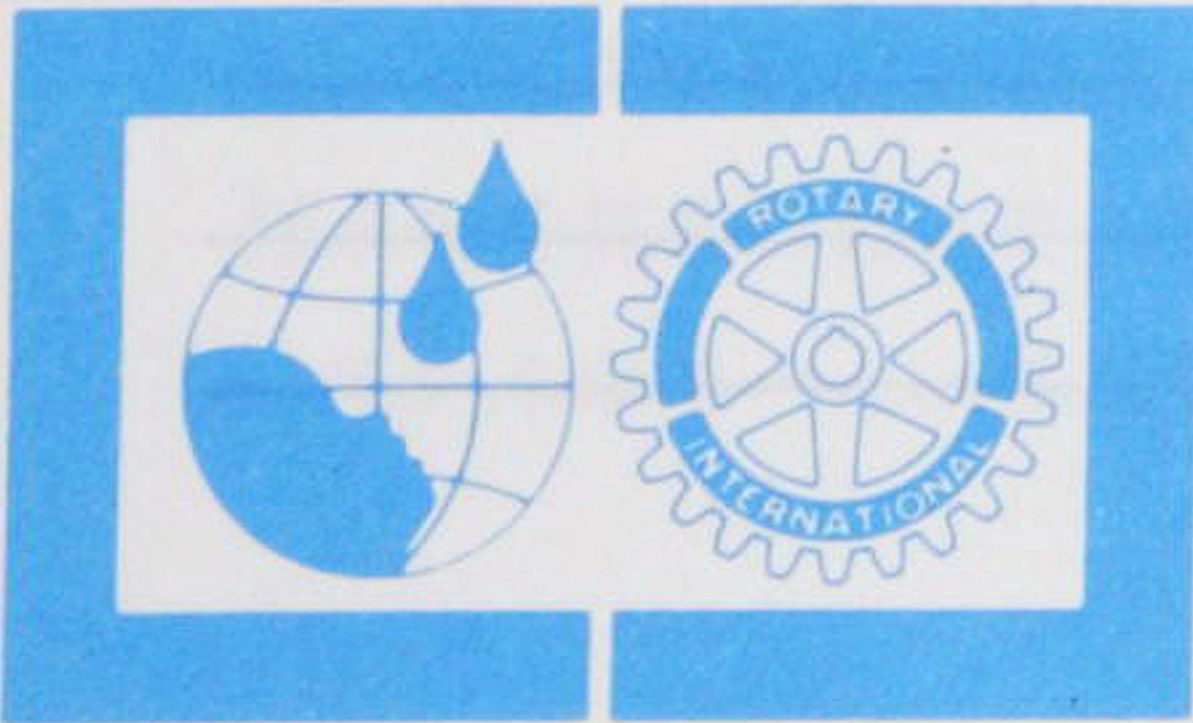
---

次々週例会    10月4日    卓話    中村和彦会員

---

（以下、略）

**PolioPlus**



“開発途上国の新生児を対称に  
ワクチン投与資金協力を”